

台風第19号に伴う 防災情報 (第 5 報)

福島河川国道事務所では、台風第19号に伴う降雨の影響により、災害対策支部(警戒体制)を設置し管内の警戒にあたっておりますが、阿武隈川水系阿武隈川阿久津・須賀川水位観測所で今後、氾濫危険水位を超過する見込みのため、災害対策支部を非常体制(河川)へと移行しました。河川については、今後も水位が上昇する見込みです。
今後の防災情報に注意して下さい。

1. 事務所体制

【最新の体制】

支 部 : 10月10日 15時00分 注意体制
支 部 : 10月12日 14時09分 警戒体制
支 部 : 10月12日 16時30分 非常体制(河川)

2. 雨量情報

【道 路】 10月12日 16時00分 現在

路線名	観測所名	時間雨量 mm	連続雨量 mm
国道13号	栗子国道	17 mm	92 mm
国道13号	西栗子トンネル西	16 mm	90 mm
相馬福島道路	東檜這橋	26 mm	148 mm

【道路 雨量基準】

	時間雨量	連続雨量
注意体制	40mm	80mm
警戒体制	—	120mm

【道路 雨量基準(東北中央自動車道)】

	時間雨量	連続雨量
注意体制	40mm	80mm
警戒体制	—	120mm

【砂 防】 10月12日 16時10分 現在

水系名	観測所名	時間雨量 mm	連続雨量 mm
阿武隈川	高湯(須川)	mm	114 mm
阿武隈川	微温湯(須川)	mm	120 mm

【砂防 雨量基準】

	時間雨量	連続雨量
注意体制	—	80mm
警戒体制	40mm	120mm

3. 被災情報

・今のところ被災情報は入っていません。

4. 現地情報連絡員(リエゾン)※1の派遣状況

リエゾン出発(15:50)

派遣先	派遣人数
福島市	2人

※1 リエゾンとは、災害対策現地情報連絡員のことをいい、リエゾンは大規模な災害が発生したときに「支援の窓口」として職員を派遣するものです。よりの確かつ迅速な災害対応支援を実施するためには、積極的な情報の収集及び提供が重要と考え東北地方整備局から各自治体災害対策本部に対して「現地情報連絡員」を派遣する制度を平成19年12月に創設されたものです。

5. 今後の見通し

・今後、新たな情報が入り次第お知らせします。今後の気象情報・道路情報にご注意下さい。

《事務所管内の情報は、右記のURLからご覧下さい》

<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>



お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

TEL 024-546-4331 (代)

【 広報担当官 】	副 所 長	種市 優 <small>たねいち まさる</small>	内線(206)
【 河川・砂防関係 】	副 所 長	阿部 誠司 <small>あべ せいじ</small>	内線(204)
【 河川 関係 】	調 査 第 一 課 長	古賀 博久 <small>こが ひろひさ</small>	内線(351)
【 砂 防 関 係 】	建 設 専 門 官	石川 淳一 <small>いしかわ じゅんいち</small>	内線(408)
【 道 路 関 係 】	副 所 長	本木 雅信 <small>もとぎ まきのぶ</small>	内線(205)
【 道 路 関 係 】	道 路 管 理 課 長	田中 隆紹 <small>たなか たかつぐ</small>	内線(431)